

事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0103104 - 04090

京都府南丹市
作成日: 平成21年04月30日

事業名	高齢者福祉サービス事業	事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等	所管部署名等
細事業名	緊急通報体制等整備事業	委託先	<input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体 <input type="checkbox"/> その他 ()	福祉部 高齢福祉課 担当: 西
事業区分	事業分類: (B) ソフト事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄)	政策体系CD: 145	関連法令・条例等	南丹市緊急通報電話設置要綱

【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け
ひとり暮らしの高齢者等の日常生活の不安解消と、近隣住民等の協力体制を確保し、急病・災害等の緊急時における迅速な対応と安全確保を図る。
おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、緊急通報装置を設置し対応する。機器は、NTTのシルバーホンあんしんSⅢを使用。
・ 設置工事費: 3,045円
・ リース料: 399円/月
- ②事業を実施する必要性
高齢化が進む中、独居老人、高齢者世帯老人にとって、日常生活の不安は大きく、機器設置が不安・孤独感の解消になっている。併せて、緊急時における迅速かつ正確な対応を行う上で必要不可欠である。
- ③未実施事項
設置後の利用者の状況把握 (電池等の交換も含めて) も必要と思われる。
- ④他にも効果が見込める施策があるか
安全センターの管理による24時間365日対応の緊急通報サービスがある。(舞鶴市、京丹後市実施)

【事業費の推移】

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21予算	平22計画
決算額または計画額	千円	1,264	1,217	1,153	1,421	1,360
うち一般職、嘱託職、臨時職 給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
一般財源	千円	1,264	1,217	1,153	1,421	1,360
職員等従事人員	人/年	—	—	0.22		
人件費	千円	—	—	1,547		
事業費総額	千円	—	—	2,700		

【主な支出の内訳】

設置工事費 82千円 (3,045円/1回)
手数料リース料 1,071千円 (399円/月)

【近隣市町村の取り組み状況】

近隣市町において同事業実施

【前年度の評価を受けて改善した点等】

【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
独居や昼間独居の高齢者が増加している状況で、不安の解消や安心した生活を送る上で緊急通報装置の設置は必要。
- ②当該事業のアピール事業
NTTの機器をリースして実施。毎月の経費も安価である。
- ③反省点、今後の展開・方向性
現在通報先登録は3カ所であり個人宅への設定でお願いしている。24時間の受信体制ではない。また定期的な機器のチェックもできていない。

事業活動記録

平成20年度実施事業

政策体系CD	145	事業名	高齢者福祉サービス事業		
事業CD.	103104-04090	細事業名	緊急通報体制等整備事業		
所管部局	福祉部	所管課	高齢福祉課	担当	西

103104-04090

区分	活動内容	活動日または時期	活動結果
設置	一人暮らしの高齢者等の日常生活の不安解消と、近隣住民等の協力体制を確保し、急病・災害等の緊急時における迅速な対応と安全確保を図ることを目的とし事業を進めている。 緊急通報装置の設定申請があれば、審査・決定をし、決定の際にはNTTに申請者宅への設置の依頼をする。設置の際には、職員が同伴する。	申請の際、随時	20年度申請数 33件
撤去	機器利用が不要となった場合、機器撤去の依頼をNTTにする。撤去の際には、職員も同伴する。	不要となった時	20年度 14件
支払	毎月、NTTに緊急通報装置リース料の支払をする。	毎月	